

## 中国簡牘筆跡データセットβ版の公開

### (1) データセットの概要

#### 1) 概要

本データセットは、中国簡牘の筆跡に内在する非テキスト情報を、他者と共有できる形式の定量的な資料とすることを目的として作成したものである。

これまで簡牘に記された筆跡の特徴は、行政文書の研究においては、その文書の性質や書記官の業務、文書の移動システムを考察するうえで、また法律条文等の研究においては、接続関係を考察するうえで、その判断の傍証となるケースが存在した。しかし、筆跡の特徴を表出する際には、研究者個人の主観的評価を伴わざるを得ず、客観性を確保することが困難であった。そこで本プロジェクトでは、以下2つの手法で筆跡データを作成し、古代人の筆跡を定量的な「資料」として広く提供する。

#### 1. 内的情報の観察：

①書体、②筆法（直筆・側筆）、③横画の角度、④主要長画、⑤種別（公文書・簿籍・記録・書信・その他）の5項目を観察したデータ。

#### 2. 外的情報の計測：

デジタルデータ上で、筆跡のアスペクト（縦横）比と傾きを計測したデータ。

同一簡内におけるアスペクト比と傾きの割合、そしてアスペクト比と傾きの分布を図表化したものを添付する。

#### 2) 対象資料とデータ件数

本データセットは、簡牘筆跡定量化の有効性を試験的に検討するため、現在公開されている里耶秦簡のうち『里耶秦簡博物館蔵秦簡』（中西書局、2016年6月）に掲載された簡について、上記手法により筆跡データを作成した。

データセットβ版公開時点、作成した筆跡データの件数は、それぞれ以下の通りである。

1. 内的情報の観察： 約 2,300 文字

2. 外的情報の計測： 約 5,000 文字

### (2) データセット URL

[https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/AJY7AwLZ5wRte9dUo0MYMC3Lml\\_TrWHLU0zTpb0Lz68/m/UQptmCXG](https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/AJY7AwLZ5wRte9dUo0MYMC3Lml_TrWHLU0zTpb0Lz68/m/UQptmCXG)

### (3) 凡例

#### 1. 内的情報の観察：

##### ①個体 ID：

・史料名＋整理番号＋正／背＋字号＋文字種

例) 里耶秦簡 6-25 正面の1番目の「木」字は、「liye06-0025\_01\_001\_木」と表す。

##### ②記号等の用法：

・「☆」→ 「/」「L」「●」「＝」（重文符号）

・「＝」→ 外字

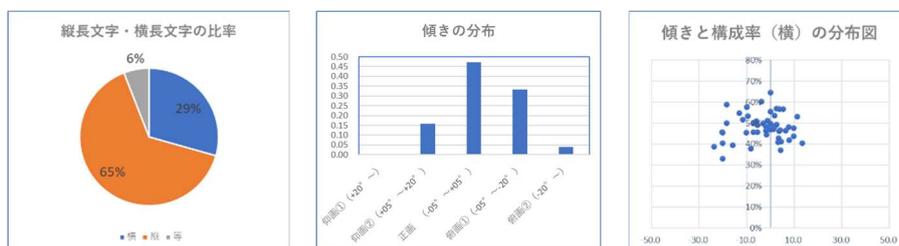
・「■」→ 簡頭の黒塗りを示す。半円状の場合も「■」と表した。

## 2. 外的情報の計測：

### ①データプロファイル：

- ・ ID：史料名＋整理番号＋正／背＋字号＋文字種  
例) 里耶秦簡 6-25 正面の 1 番目の「木」字は、「liye06-0025\_01\_001\_木」と表す。
- ・ Char：文字種
- ・ X：X 座標値
- ・ Y：Y 座標値
- ・ Width：横幅座標
- ・ Height：縦幅座標
- ・ Angle：傾き
- ・ Aspect：縦横比
- ・ beside：横幅の比率
- ・ vertical：縦幅の比率
- ・ Center X：文字中点の X 座標値
- ・ Center Y：文字中点の Y 座標値
- ・ Inter dist：文字中点どうしの距離
- ・ Char space：文字矩形どうしの距離

### ②図表の例：



## (4) 提供機関

京都大学人文科学研究所附属人文情報学創新センター

## (5) 利用許諾条件 (ライセンス)

本データセットは、[クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの「CC BY」](#) (クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス) 相当の条件で提供します。

この条件に同意される方であれば、どなたでもご利用頂けます。

利用に際して提供機関の許諾を必要としませんが、提供機関と「中国簡牘筆跡データセットβ版 ([https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/AJY7AwLZ5wRte9dUo0MYMC3Lml\\_TrWHLU0zTpb0Lz68/m/UQptmCXG](https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/AJY7AwLZ5wRte9dUo0MYMC3Lml_TrWHLU0zTpb0Lz68/m/UQptmCXG))」を明示してください。

## (6) 関連する研究プロジェクト

- ・ 京都大学人文科学研究所創新センタープロジェクト「中国出土文字資料の筆跡分析：筆跡の研究資源化」(研究代表者：宮宅潔)
- ・ JSPS 科研費若手研究「[中国古代簡牘における規範字体算定の基礎的研究 \(21K13127\)](#)」(研究代表者：畑野吉則、2021～2023 年度)

## (7) 謝 辞

本データセットは、飯田祥子氏 (京都大学非常勤研究員)、宮崎肇氏 (東京大学史料編纂所) の協力を得て作成したものである。

2024 年 3 月

京都大学人文科学研究所・宮宅潔

立命館大学衣笠総合研究機構・畑野吉則